

2017年8月3日

「協和発酵バイオ株式会社」植物成長調整剤事業の 「住友化学株式会社」への譲渡のお知らせ

協和発酵キリン株式会社（本社：東京、代表取締役社長：花井 陳雄）は、当社連結子会社の協和発酵バイオ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小谷 近之、以下「協和発酵バイオ」）が、協和発酵バイオの植物成長調整剤事業を住友化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：十倉 雅和、以下「住友化学」）に譲渡することについて、協和発酵バイオと住友化学の間で合意しましたのでお知らせします。

協和発酵バイオは、各種アミノ酸をはじめとして、発酵生産技術をベースにして「ジベレリン協和」や「フルメット」等の植物成長調整剤事業を展開しています。

住友化学は、植物成長調整剤事業を含む健康・農業関連事業を重要領域の一つとして位置付けていることから、今回の譲渡により、同事業の更なる成長・発展が期待できるものと考えております。なお協和発酵バイオは、経営資源の効率化を図りつつ、医薬品・健康食品原料等の主力分野へ引き続き注力してまいります。

協和発酵バイオは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

住友化学の植物成長調整剤事業について

住友化学は、植物生長調整剤・微生物農薬・微生物農業資材及びそれらを用いたソリューションである「バイオラショナル」を注力事業として位置付け、米の関連会社 VBC 社を中心に、グローバルに事業展開しています。